



キーボードのタッチタイピング技能を用いたウェアラブル文字入力インターフェース

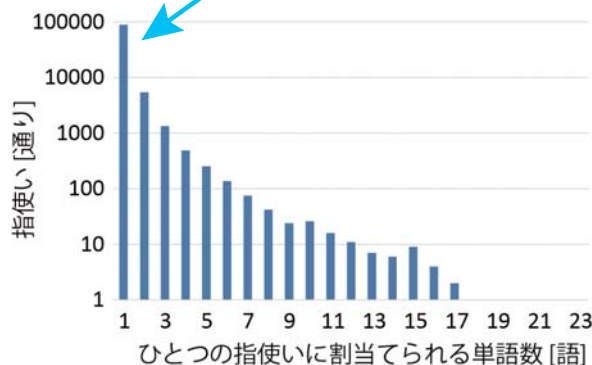
キーボードと同じ操作方法なのにキーボードいらず

研究内容

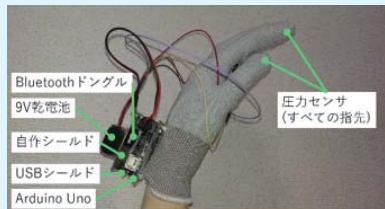
特許情報:特願2014-216226

本技術はウェアラブル文字入力方式である。キーボードを用いず、指の押下を検出するセンサを搭載した手袋型デバイスのみで構成されている。事前に訓練する必要がなく、かつ従来のキーボードと同等の文字入力速度を実現する。キーボード型ではない文字入力デバイスを用いる場合、通常は複数のボタンの組合せで1文字入力する等の新たな入力方式を習熟する必要があるが、本技術は指の押下系列と既にユーザが体得しているタッチタイピング技術に基づく統計情報から、入力された文字列を復号する点に特徴がある。

109,562語の英単語のうち、88,555語(81%)は指使いが他の単語と異なる(ユニーク)。

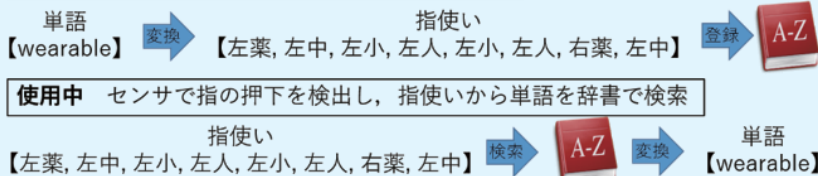


外観



事前準備 単語を指使いに変換して、辞書を作成

処理の流れ



応用例

- ・ HMD(スマートグラス)やスマートウォッチなどのウェアラブルデバイスに対する文字入力
- ・ 作業中などキーボードを開けない、キーボードの場所にとどまらない状態での文字入力
- ・ 入力文字を知られたくない、入力していること自体を隠したいなど、秘匿な文字入力

セールスポイント

- ・ 既にユーザが獲得しているタッチタイプ技能にもとづく符号化を採用しており、練習が不要
- ・ 指で叩く場所があれば動作するため、場所を問わない
- ・ キーボードは不要なため、手元を見られても入力文字の推測が困難で、セキュア
- ・ ホームポジションの概念がないため、完全なアイズフリー
- ・ 既存のキーボードで入力可能な多言語に対応

研究キーワード: 文字入力 ・ インタフェース ・ ウェアラブル

【お問合せ】

立命館大学 BKCリサーチオフィス

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 びわこくさつキャンパス

TEL:077-561-2802 FAX:077-561-2811 MAIL:liaisonb@st.ritsumei.ac.jp

情報理工学部 情報理工学科
村尾 和哉 准教授
<http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/112/0011161/profile.html>

